

京都市消防局警防部警防課
(担当：鳥越、加木 075-671-2119)

本仕様書は、京都市消防局が出初式等で使用する訓練施設（模擬建物）設営委託について、必要な事項を定める。

第1 設営物件

- 訓練施設（模擬建物）×4棟
- (内訳)
- 事前訓練用模擬建物×2棟
- 出初式当日訓練用模擬建物×2棟

第2 設営、撤去日時及び設営場所

1 事前訓練用模擬建物

- (1) 設営日時
令和8年12月3日（木）（詳細な時間については、別途指示）
- (2) 撤去日時
令和9年1月9日（土）午前（詳細な時間については、別途指示）
- (3) 設営場所（別紙1参照。詳細な場所については、別途指示）
京都市消防活動総合センター敷地内（京都市南区上鳥羽塔ノ森下開ノ内94）

2 出初式当日訓練用模擬建物

- (1) 設営日時
令和9年1月10日（日）午前6時30分から同日午前8時30分（出初式開会前）まで。
- (2) 撤去日時
令和9年1月10日（日）午前11時30分頃（出初式終了後）から速やかに実施すること。
- (3) 設営場所（別紙2参照。詳細な場所については、別途指示）
京都市左京区岡崎最勝寺町 二条通神宮道西入 京都市勧業館（みやこめっせ）北側付近

第3 設営内容等（別紙3及び4参照）

1 設営内容

単管等で製作したタワー6基等を組み合わせ、表面（前面及び側面）に防災シート（当局が所有のものを使用）を取り付けた模擬建物を設営する。

2 材質等

- (1) 単管材質：アルミ製若しくは鋼製
- (2) 接合方法：冷間圧着採用
- (3) キャスター等：ブレーキ性能170kg以上
- (4) 転倒防止用アウトリガー：直径200mmジャッキ付
- (5) 安全荷重：420kg以上
- (6) 作業床：ハッチ式

3 タワー形状

1基当たりの形状は、幅1,800mm×高さ1,500mm×奥行き1,500mmとする。
なお、幅、高さ及び奥行きにあっては、誤差±200mm以内とする。

第4 その他

- 1 模擬建物には、転倒防止用アウトリガーに加え、風対策を施すこと。
- 2 模擬建物には、切断用のL型鋼を計12本準備すること。
- 3 警防課が所有している防災シート（ポリエチレン製メッシュ型）を模擬建物周囲に取り付けること。
- 4 設営場所については別紙1及び2のとおりとし、担当者の指示のもと移動及び設営すること。
- 5 模擬建物の仕様等、細部については担当者と打ち合わせを行うこと。



出 初 式 当 日 訓 練 用 模 擬 建 物 設 営 配 置 図

ロームシアター

公 園

N

二条通

訓練開始直前に移動

①事前設営場所

模擬建物

②事前設営場所

模擬建物

京都勧業館

(みやこめっせ)

交番

神宮道

模擬建物立面図

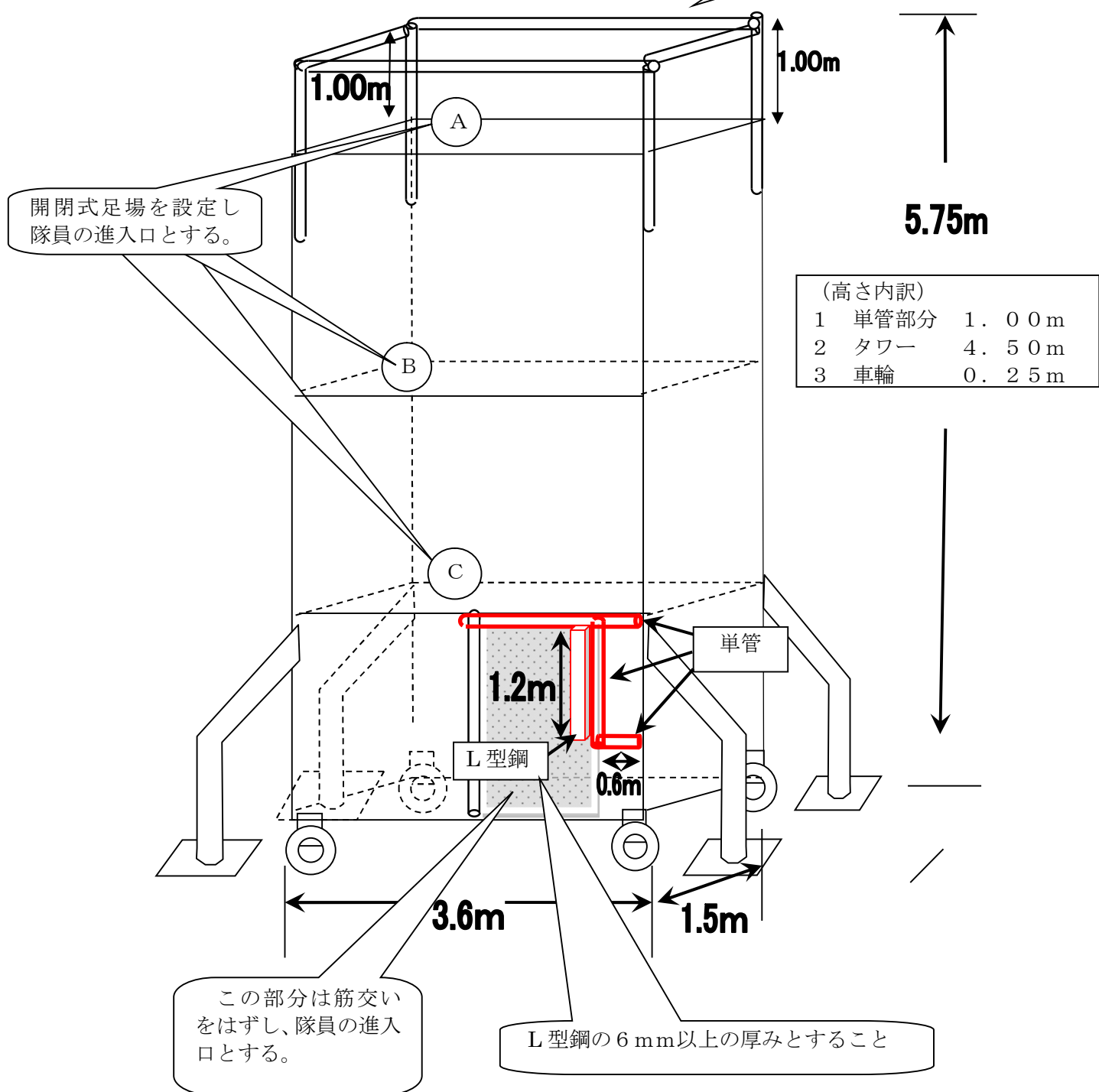
- 1 幅1,800mm×高さ1,500mm×奥行き1,500mmのタワーを計6基組み合わせて設営する。

なお、幅、高さ及び奥行きにあっては、誤差±200mm以内とする。

- 2 A、B及びC面に開閉式足場を敷くこと。
- 3 転倒防止用のアウトリガーを設置すること。
- 4 タワーの天井部に、転落防止柵及び支柱を単管で作成する。

単管を使用する。
(最上部に使用する四辺について、隊員が降下等にするためのロープ支点として使用できるよう、十分な強度を有するもの)

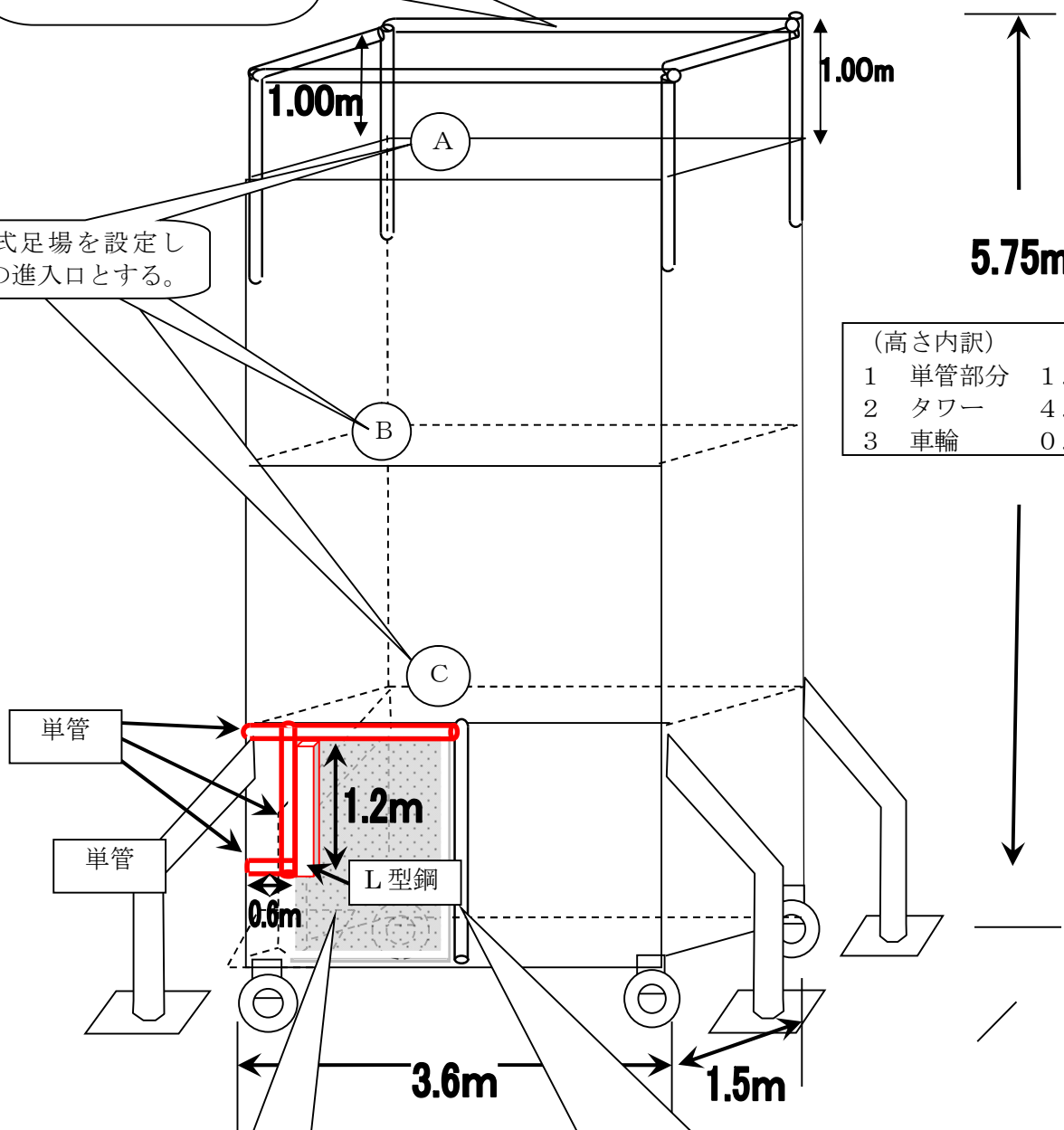
【西側】



【東側】

単管を使用する。
(最上部に使用する四辺について、隊員が降下等するためのロープ支点として使用できるよう、十分な強度を有するもの)

開閉式足場を設定し
隊員の進入口とする。



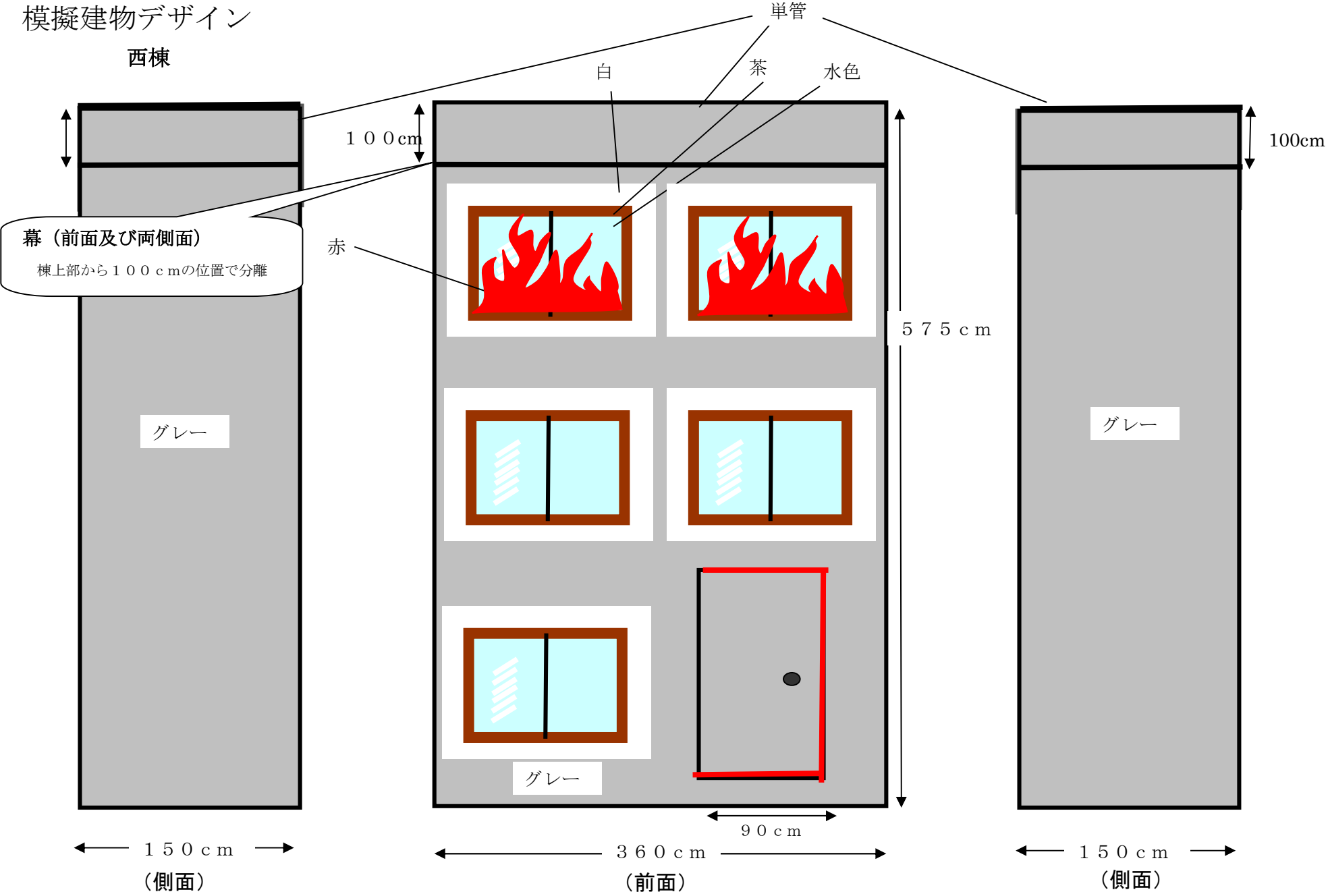
(高さ内訳)

1	単管部分	1.00m
2	タワー	4.50m
3	車輪	0.25m

この部分は筋交いをはずし、隊員の進入口とする。

L型鋼の6mm以上の厚みとすること

模擬建物デザイン
西棟



模擬建物デザイン

東棟

